

研究開発評価のためのデータベースの構築・運用・活用に関するアンケート

【民間企業向け】

2008年12月19日

MRI 株式会社 三菱総合研究所

《はじめに》

このたび、株式会社三菱総合研究所では、文部科学省科学技術・学術政策局の委託により、研究開発評価のためのデータベースの構築・運用・活用に関する調査を行うことになりました。

調査対象はこの調査票は、研究開発費が多い我が国の上場企業 190 社、我が国に研究開発拠点を置く外資系企業 10 社に対して送付しています。

今回の調査は、データベースを活用することにより、効率的に研究開発評価を実施している先進的な事例を収集することにより、研究開発評価を推進するための方策を検討することを目的としています。

《ご記入にあたって》

貴社で研究開発の評価を担当されている方が回答ください。

本アンケートは、郵送または電子メール返送のいずれかで回答してください。

いずれの方法も 1月30日(金)までに回答ください。

【郵送によるご回答】

本調査票に直接記入の上、同封の返信用封筒にて返送ください。

【電子メールによるご回答】

本調査用ウェブサイト(<http://www.stu-mri.jp/hyoka-db/>)から調査票ファイルをダウンロードして記入し、hyoka-db@mri.co.jp まで返信ください。

【FAXによるご回答(締め切り直前の場合)】

締め切り直前の場合は、本調査票を FAX して頂いてもかまいません。

《回答頂いた情報の取り扱いについて》

ご回答頂いた内容につきましては、今回の調査目的に従って、統計的な分析を行うためのみに使用し、その他の目的で利用することはございません。個別企業が特定されるような扱いは致しませんので、ご協力をお願い致します。なお、回答いただいた方には、まとまり次第、電子メールで調査結果をフィードバックいたします。

《アンケートの目的や内容に関するお問い合わせ先》

株式会社三菱総合研究所 科学・安全政策研究本部 担当：高谷徹、山本芳嗣

お問い合わせ用メールアドレス hyoka-db@mri.co.jp

本調査用ウェブサイト(調査票ダウンロード、FAQ など) <http://www.stu-mri.jp/hyoka-db/>

電話 (03) 3277-0898 FAX 03-3277-0568

連絡先を記入ください。

【重要】

※ご役職、ご氏名、ご連絡先(電話)、ご連絡先(電子メール)につきましては、個人情報となりますので、別紙「個人情報のお取り扱いについて」の説明文を読み、了解、承諾された上でご記入ください。アンケート内容の確認、結果のフィードバック、インタビュー調査の依頼(任意)のみに利用します

《ご記入欄》

企業名			
ご所属(部署)			
ご役職*		ご氏名*	
ご連絡先(電話)*		ご連絡先(電子メール)*	

個人情報のお取り扱いについて

本アンケートは、文部科学省科学技術・学術政策局より、「研究開発評価活動のグローバル化の推進及び研究開発評価のためのデータベースの構築・運用・活用に関する調査・分析」の業務委託を受けて三菱総合研究所が実施するものです。

ご回答者の個人情報のお取り扱いについては、下記のとおり適切に管理いたしますので、ご同意の上、アンケートにご回答下さい。

1. 個人情報の取扱いに関する 弊社の基本姿勢	三菱総合研究所は、2003年1月8日にプライバシーマークの付与・認定を受けております。 ご回答者の個人情報は、弊社が定める「個人情報保護方針」に則り、適切な保護措置を講じ、厳重に管理いたします。
2. ご回答者の個人情報の利用 目的	ご回答者の個人情報は以下の目的のために利用させていただきます。下記以外の目的で個人情報を利用する場合は、改めて目的をお知らせし、同意を得るものといたします。 (1) アンケート内容の確認 (2) アンケート調査結果のフィードバック (3) インタビュー調査のご協力依頼(任意)
3. ご回答者の個人情報の提供 提供：事業者が自ら保有する個人情報 を自社以外の者が利用できる ようにすることをいう。(委託 を除く)	個人情報の提供の予定はありません。
4. ご回答者の個人情報の委託 委託：事業者が利用目的達成に 必要な範囲内において、個人 情報の取扱いの全部又は一部 を自社以外の者に預けること をいう。	ご回答者の個人情報は、外部委託事業者 に個人情報を取扱う業務を委託 いたします。 その際、必要な契約を締結し、 弊社の従業員に対するのと同 等の管理を行います。
5. ご回答者の個人情報の利用 終了後の措置(個人情報の保 管期間)	当該業務終了後は、三菱総合研究所 が責任をもって廃棄いたします。
6. ご回答者が個人情報を弊社 に与えることの任意性及び当 該情報を与えなかった場合に ご回答者に生じる結果につ いて	・お名前・ご連絡先をご記入 いただいた場合、後日、アン ケート回答内容について、 ご質問させていただくこと がございます。 ・お名前・ご連絡先を記入 いただいた方には、アン ケートの集計結果について お知らせする場合があります。 ・ご回答された方が、個人 名の記載を希望されない 場合には、個人名の部分 につきまして空欄でも構 いません。その場合、アン ケートの集計結果につ いてお知らせすることは できません。
7. 個人情報に関するご 連絡先	(1) 個人情報保護管理者 株式会社三菱総合研究所 常務執行役員 渡井康之 (連絡先: 03-3270-9211、E-mail: privacy@mri.co.jp) (2) 苦情・相談窓口: 経営企画部 広報グループ 電話: 03-3277-4515 FAX: 03-3277-3490 E-mail: prd@mri.co.jp URL: http://www.mri.co.jp/kojin/

◆ 弊社の「個人情報保護方針」「個人情報のお取り扱いについて」をご覧になりたい方は
<http://www.mri.co.jp/TOP/privacy.html> をご覧下さい。

又、ご請求いただければお送り致します。

お問合せ番号: P018709-002-c

本アンケートで「データベース」とは、データが一元的に管理されているものを指し、大規模なデータベースシステムである必要はありません。表計算ソフト(Excel など)などファイルで管理されている場合であっても、データがまとめられて管理されていれば、「データベース」とみなします。

問1 研究開発テーマの評価について

貴社で実施している研究開発テーマに関する情報の取り扱いおよびそれに関連する業務についてお尋ねします。

問1-1 貴社では、個別の研究開発テーマの情報をどのように管理していますか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

1. 全社的なデータベースで管理している
2. 部門・分野等で分かれた複数のデータベースで管理している
3. 情報内容(項目)毎に分かれた複数のデータベースで管理している
4. 必要な度に収集しているが、管理していない → 問2へ
5. 情報を収集していない → 問2へ

以下、上記問 1-1で 1、2、3 を選択された方にお聞きします。

問1-2 データベースはどのような仕組みですか。もっとも近いもの 1 つに○をつけてください。

1. 表計算ソフト(Excel など)、デスクトップデータベース(Access)などファイルで管理
2. 独自に構築したデータベース(RDBMS など)をサーバーで運用している
3. 業務用のパッケージを購入して構築している(パッケージ名称: _____)

問1-3 データベースに納められている個別の研究開発テーマの情報内容(項目)はどのようなものですか。あてはまるもの すべて に○をつけてください。

- | | | |
|-----------------|--------------|----------|
| 1. テーマ名称 | 6. 事業との関係 | 11. 発生費用 |
| 2. テーマの説明・キーワード | 7. 研究開発の成功確率 | 12. 進捗状況 |
| 3. テーマの分類 | 8. 技術の難易度 | 13. 成果 |
| 4. 担当者・実施体制 | 9. 利益・効果の予測値 | 14. 評価結果 |
| 5. 研究開発内容(実施前) | 10. 予算 | 15. その他 |

その他の主な内容(項目)や特徴的な点をお答えください。

問1-4 データベースに収められているテーマは、現在貴社全体で実施しているテーマの約何%ですか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

1. 100%
2. 80%以上 100%未満
3. 60%以上 80%未満
4. 40%以上 60%未満
5. 20%以上 40%未満
6. 20%未満

問1-5 データベースに納められている個別の研究開発テーマの情報をどのような目的で活用していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

※研究開発テーマの評価とは、実施している研究開発テーマについて事前(選定)、中間、事後等に評価することを指します。

<ol style="list-style-type: none"> 1. 組織としてのテーマのポートフォリオ管理・負荷管理 2. 個別テーマの進捗・成果の管理 3. 個別テーマの予算管理・人的管理 4. 個別テーマの事前評価(選定) 5. 個別テーマの中間評価 6. 個別テーマの事後評価 7. 内部の研究者間の情報共有 8. 外部への情報公開 9. その他(具体的に: _____) 	} → 問 1-6へ進んでください
--	-------------------

以下、上記問 1-5で 4、5、6 を少なくとも 1 つ選択された方にお聞きします。

(それ以外の方は以下を飛ばして、問 2 へ進んでください)

問1-6 データベース化を行ったことで現在どのようなメリットを感じていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

<ol style="list-style-type: none"> 1. 評価の質の向上・高度な評価 2. 評価の納得性・効果の向上 3. 情報共有・情報公開の実現 4. 評価に関わるコスト(人件費以外)の削減 5. 評価に関わる作業量の削減 6. 評価期間の短縮 7. その他(具体的に: _____)
--

問1-7 構築したデータベースの実効性や利便性を高めるために、どのような工夫や取り組みをしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

A	入力・更新率の向上や入力作業負担軽減のための工夫	<ol style="list-style-type: none"> 1. 入力を義務づけた 2. 入力した個人や入力率の高い組織に報償を与えた 3. 入力していない場合に個人や組織にペナルティを与えた 4. 内部の他のデータベースと連動させた 5. 外部のデータベースと連動させた 6. その他(簡潔に: _____)
B	運用上の工夫	<ol style="list-style-type: none"> 7. 操作方法に関する質問窓口や人員を用意した 8. 一定期間ごとに、データベースを見直す仕組みを用意した 9. 情報漏えい対策を施した 10. 運用管理作業をアウトソーシングした 11. その他(簡潔に: _____)
C	評価や企画などに活用する上での工夫	<ol style="list-style-type: none"> 12. 組織の戦略(中長期目標・重点領域など)との関係からの分析を可能とした 13. 予算・進捗管理に用いることを可能とした 14. 情報共有・情報公開などに利用することを可能とした 15. データ検索機能を工夫した 16. その他(簡潔に: _____)

特に工夫した点について具体的にお答えください。

--

問1-8 データベースの運用・活用の際にどのような課題がありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

A	データ収集上の課題	1. 入力率が低い 2. 情報の登録の手間が大きい 3. ユーザーインターフェースが悪い(入力しにくい、遅いなど) 4. 他のデータベース(内部)と連携していない(二重入力が発生するなど) 5. 他のデータベース(外部)と連携していない(二重入力が発生するなど) 6. データが正確でない 7. データの更新がされていない 8. その他(簡潔に: _____)
B	運用上の課題	9. 運用のコスト(外注費)が大きい 10. 運用の作業(組織内)が大きい 11. 情報漏えい対策が不十分 12. その他(簡潔に: _____)
C	評価や企画などに活用する上での課題	13. データベースがあまり利用されていない 14. データ項目の変更が容易にできない 15. データ検索機能が不十分 16. その他(簡潔に: _____)

特に課題である点について具体的にお答えください。

問2 研究者の研究活動に関する実績の情報収集・管理について

貴社で実施している研究者個人の研究開発業績の情報の取り扱いおよびそれに関連する業務についてお尋ねします。

問2-1 貴社では、研究者個人の研究開発業績の情報をどのように管理していますか。あてはまるもの 1つに○をつけてください。

1. 全社的なデータベースで管理している
2. 部門・分野等で分かれた複数のデータベースで管理している
3. 情報内容(項目)毎に分かれた複数のデータベースで管理している
4. 必要な度に収集しているが、管理していない → 問3へ
5. 情報を収集していない → 問3へ

以下、上記問2-1で1、2、3を選択された方にお聞きします。

問2-2 データベースはどのような仕組みですか。もっとも近いもの 1つに○をつけてください。

1. 表計算ソフト(Excel など)、デスクトップデータベース(Access)などファイルで管理
2. 独自に構築したデータベース(RDBMS など)をサーバーで運用している
3. 業務用のパッケージを購入して構築している(パッケージ名称: _____)

問2-3 データベースに納められている研究者個人の研究開発業績の情報はどのようなものですか。あてはまるもの すべてに○をつけてください。

- | | | |
|----------------|------------------|------------------|
| 1. 氏名 | 6. 過去の研究開発成果 | 11. 外部・内部からの賞・表彰 |
| 2. 所属 | 7. 論文情報(数、引用数など) | 12. マスコミ投稿、掲載、出演 |
| 3. 専門分野、専門性 | 8. 特許等の情報 | 13. 社会貢献活動 |
| 4. 担当分野 | 9. 外部資金の獲得 | 14. 評価結果 |
| 5. 担当する技術開発テーマ | 10. 学会等の活動情報 | 15. その他 |

その他の主な内容(項目)や特徴的な点をお答えください。

問2-4 データベースに収められている研究者数は、貴社の研究者全体の約何%ですか。あてはまるもの 1つに○をつけてください。

1. 100%
2. 80%以上 100%未満
3. 60%以上 80%未満
4. 40%以上 60%未満
5. 20%以上 40%未満
6. 20%未満

問2-5 データベースに納められている研究者個人の研究開発業績の情報をどのような目的で活用していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

※研究開発業績の評価とは、研究者個人について業績等の評価(昇任等のための不定期なものを含む)のことを指します。

1. 組織としての業績の管理	
2. 研究者の個人評価	→ 問 2-6へ
3. 内部の研究者間の情報共有	
4. 外部への情報公開	
5. その他(具体的に:)

以下、上記問 2-5で 2 を選択された方にお聞きします。
(それ以外の方は以下を飛ばして問 3 へ進んでください。)

問2-6 データベース化を行ったことで現在どのようなメリットを感じていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 評価の質の向上・高度な評価	
2. 評価の納得性・効果の向上	
3. 情報共有・情報公開の実現	
4. 評価に関わるコスト(人件費以外)の削減	
5. 評価に関わる作業量の削減	
6. 評価期間の短縮	
7. その他(具体的に:)

問2-7 構築したデータベースの実効性や利便性を高めるために、どのような工夫や取り組みをしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

A	入力・更新率の向上や入力作業負担軽減のための工夫	1. 入力を義務づけた 2. 入力した個人や入力率の高い組織に報償を与えた 3. 入力していない場合に個人や組織にペナルティを与えた 4. 内部の他のデータベースと連動させた 5. 外部のデータベースと連動させた 6. その他(簡潔に:)
B	運用上の工夫	7. 操作方法に関する質問窓口や人員を用意した 8. 一定期間ごとに、データベースを見直す仕組みを用意した 9. 情報漏えい対策を施した 10. 運用管理作業をアウトソーシングした 11. その他(簡潔に:)
C	評価や企画などに活用する上での工夫	12. 他の研究者や平均値との比較を可能とした 13. 時系列データとの比較を可能とした 14. 情報共有・情報公開などに利用することを可能とした 15. データ検索機能を工夫した 16. その他(簡潔に:)

特に工夫した点について具体的にお答えください。

--

問2-8 データベースの運用・活用の際にどのような課題がありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

A	データ収集上の課題	1. 入力率が低い 2. 情報の登録の手間が大きい 3. ユーザーインターフェースが悪い(入力しにくい、遅いなど) 4. 他のデータベース(内部)と連携していない(二重入力が発生するなど) 5. 他のデータベース(外部)と連携していない(二重入力が発生するなど) 6. データが正確でない 7. データの更新がされていない 8. その他(簡潔に: _____)
B	運用上の課題	9. 運用のコスト(外注費)が大きい 10. 運用の作業(組織内)が大きい 11. 情報漏えい対策が不十分 12. その他(簡潔に: _____)
C	評価や企画などに活用する上での課題	13. データベースがあまり利用されていない 14. データ項目の変更が容易にできない 15. データ検索機能が不十分 16. その他(簡潔に: _____)

特に課題である点について具体的にお答えください。

問3 研究開発評価全般について

問3-1 研究開発評価に関するデータベースに関しての課題認識、問題意識、ご意見があれば、記述してください。

(例. 共通で利用可能な研究成果データベースの整備など)

問4 貴社について

貴社、あるいは貴社の研究開発部門についてご回答ください。

問4-1 企業・団体の業種について、あてはまるもの 1つに○をつけて選んでください。

1. 農業
2. 林業
3. 漁業
4. 鉱業
5. 建設業
6. 製造業:食料品製造業
7. 製造業:飲料・たばこ・飼料製造業
8. 製造業:繊維工業(衣服, その他の繊維製品を除く)
9. 製造業:衣服・その他の繊維製品製造業
10. 製造業:木材・木製品製造業(家具を除く)
11. 製造業:家具・装備品製造業
12. 製造業:パルプ・紙・紙加工品製造業
13. 製造業:印刷・同関連業
14. 製造業:化学工業
15. 製造業:石油製品・石炭製品製造業
16. 製造業:プラスチック製品製造業
17. 製造業:ゴム製品製造業
18. 製造業:なめし革・同製品・毛皮製造業
19. 製造業:窯業・土石製品製造業
20. 製造業:鉄鋼業
21. 製造業:非鉄金属製造業
22. 製造業:金属製品製造業
23. 製造業:一般機械器具製造業
24. 製造業:電気機械器具製造業
25. 製造業:情報通信機械器具製造業
26. 製造業:電子部品・デバイス製造業
27. 製造業:輸送用機械器具製造業
28. 製造業:精密機械器具製造業
29. 製造業:その他の製造業
30. 電気・ガス・熱供給・水道業
31. 情報通信業
32. 運輸業
33. 卸売・小売業
34. 金融・保険業
35. 不動産業
36. 飲食店, 宿泊業
37. 医療, 福祉
38. 教育, 学習支援業
※大学等高等教育機関もこちらに含まれます
39. 複合サービス事業
40. サービス業(他に分類されないもの)
※学術・開発研究機関はこちらに含まれます
41. 公務(他に分類されないもの)
※国家公務、地方公務はこちらに含まれます
42. 分類不能の産業

問4-2 研究開発部門において、主な研究分野は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 人文・社会科学の基礎研究	7. 人文・社会科学の応用研究	13. 人文・社会科学の開発
2. 理学の基礎研究	8. 理学の応用研究	14. 理学の開発
3. 工学の基礎研究	9. 工学の応用研究	15. 工学の開発
4. 農学の基礎研究	10. 農学の応用研究	16. 農学の開発
5. 保健(含医歯薬等)の基礎研究	11. 保健(含医歯薬等)の応用研究	17. 保健(含医歯薬等)の開発
6. その他分野の基礎研究	12. その他分野の応用研究	18. その他分野の開発

問4-3 研究者数(平成 20 年 3 月 31 日現在)

※「研究者」とは、大学(短期大学を除く)の課程を修了した者、又はこれと同等以上の専門的知識を有する者で、特定のテーマを持って研究を行っている者をいいます。「研究補助者」、「技能者」、「研究事務その他関係者」は含みません。

※以上の研究者の定義、基準日は、総務省「科学技術研究調査」と同等です。

()人

設問は以上です。ご協力ありがとうございました。

記入もれがないか、もう一度ご確認の上、提出してください。